**第６１回登別市市民自治推進委員会　育み部会議事録**

（敬称略）

|  |  |
| --- | --- |
| 開催日時 | 令和４年６月３０日（木）１８時００分～ |
| 開催場所 | アーニス　２階　あえるSTATION |
| 出席者 | （部会長）　　神谷博達  （部会員）　　安宅錦也、合田美津子、佐藤文子、大坂倫一、  　　　　　　　磯田大治  （読書活動家）高木三千子、須藤和恵、武者正樹、松平孝子、河上邦子  （庁内委員）　舘下貴子、古村健  （事務局）　　大越智輝、佐々木健、相馬杏 |
| 欠席者 | （副部会長）　大熊龍也  （部会員）　　仲川弘誓  （読書活動家）松山哲男 |
| 議題 | 育み部会絵本コーナーについて |
| 配布資料 | 第６１回「育み部会」資料（部会長作成）  絵本コーナー開催時の写真、担当者のアンケート  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（事務局作成） |

※読書活動家の方々にもご参加いただき、育み部会絵本コーナーについて協議した。

○会議の要点

（１）育み部会絵本コーナーについて

　①第４回・第５回絵本コーナーの振り返り

　・第４回開催時は、１階で物産展のイベントが行われており、館内に人が多く見られた。

　・第５回開催時は、１階で大きなイベントが行われておらず、館内の来客も少なく、絵本コーナーの来場者も少なかった。

　・第４回開催時に小さなお子さんが多く見られたため、第５回開催時に読み聞かせを担当した「おはなしりぼん」は、小さなお子さん向けの絵本を用意していたが、当日は小学生が来場していたので、急遽絵本を変更した。

　・第５回開催時の来場者に市職員のお子さんが多く来場されていたので、市役所内でも周知をするのはどうか。

　②読み聞かせコーナーを舞台とする取組について

　・現在は、読み聞かせをした本の挿絵に関する題材の塗り絵を行っている。

　・塗り絵の準備については、読み聞かせを行う担当の方と事務局で絵本コーナー開催日までに用意する。

　・来場者に絵本コーナーの絵本を提供することについて、前回部会ではプレゼントするA案と貸出するB案が出た。

　・長期貸出する案について、「貸出可能な絵本にロゴシールなどをつけるのはどうか。」という意見が出たため事務局で検討したところ、現在貯蔵している1500冊分のロゴシールを作成することは、予算がないため難しい。

　・ロゴシール作成について、「NPO法人北海道手をつなぐ育成会」に発注するのはどうか。

　・ロゴシールを発注するのは、予算的に難しいものがあるため、代替案として事務局から、消しゴムスタンプを作成し、自前シールを作成することを提案した。

　≪B案賛成意見について≫

・絵本コーナーの名称についても消しゴムスタンプについても、名称やデザインを市民から公募するのはどうか。市民に関心を持ってもらうためにも良いと思う。

　・返却期限が長めの設定で、絵本コーナー開催時に返却をお願いする方法だと絵本コーナーにも足を運んでもらえるのでは。

・同じ絵本が何冊かあり、プレゼントする案も良いとは思うが、中には希少価値が高い絵本があり、それを貸し出すのはどうかと思う。

　・読み終わった本を返せなくて困ることがあったので、返却できる方が良いと思う。

　【B案賛成の意見が多数出たため、B案の返却期限ありで行うことにした。】

③絵本コーナーの名称について

・市民に公募するという意見があったが、時間がかかるのでは。ロゴシール作成を考えると名称は早く決める方が良いのでは。

　○今回の部会までに絵本コーナーの名称を考えて持参してもらうことにしていた。

　「えほんと」「えほんとん」「ほんとむ」

　　絵本と～、本と～をイメージした。本と登夢くんを合体させた。

　「ミナエミナ」

　　笑う・クスクス笑うという意味がある。

　「ブック　ファーム」「みんなの図書館」

　　畑に種をまくように、みんなで本を集め広めて、みんなで成長を見守り、育てられるような活動にする。

　・絵本コーナーを多くの人に知ってもらい、関わってもらう必要がある。

　・ロゴシールは本を貸し出しする時に必要になるもので、ロゴシール作成のために名称が決まっていた方が良いというのは順番が逆ではないのか。名称が決まってから貸し出しを始めれば良いのでは。

　・これまでの部会で、絵本や読み聞かせだけということを連想させないような名称が良いという話し合いになっていた。

・時間がかかっても、市民に公募した方が親しみのある名称になるのでは。

　・親御さんが名称を聞いて、絵本コーナーの会場に来れるようにするには、名称の中に「アーニス」を入れるのが効果的である。

　・関心を持ってもらうために、ターゲットを絞って公募するのはどうか。

　・ボランティアで幼稚園の先生などに読み聞かせをしてもらうのはどうか。知っている人が読み聞かせを行うほうが子どもは集まりやすいのでは。

　・市広報紙や市ホームページの開催案内に、前回開催したときのイベントや読み聞かせの報告を載せるのはどうか。

　・公募は市内保育所や幼稚園、小学校に依頼をするのはどうか。ボランティアで読み聞かせをお願いするにしても、親しみを持った名称の方が関心を持ちやすいのでは。

　・公募して名称を決めるのは良いが、育み部会絵本コーナーとは趣旨が全く違う名称になってしまっても良いのか。

　・名称は志を含めたうえで自分たちで決めた方が良いのでは。

　・名称については、読書活動家の方に提案していただいたものと市民から公募したものから選ぶ方向で、部会長に文面を作成していただき、次回の部会で協議することとなった。

　④今後の絵本コーナー運営割当（案）について

　・部会長が作成した第６回～第８回までの運営割当で行うことで合意した。

（２）今後の予定

・「絵本コーナー」開催時間について、子どもの昼食や昼寝の時間を考える必要がある。

・絵本コーナーの開催時間について、絵本コーナーを始めたばかりでデータが少なく開催時間の決定は難しい。続けて開催し、その中で決めて行くのが良いのでは。

・７月１６日開催の絵本コーナーはすでに市広報紙で周知しているため、予定通り１０時００分から１３時００分で開催する。

・８月２０日と９月１７日開催の絵本コーナーについては、１０時００分から１２時００分で開催することになった

・夏季期間の着ぐるみについては、気温が高すぎる場合は着用しない。

（３）その他

　　なし

（４）次回の育み部会について

　　日時：令和４年　７月２５日（月）１８：００に開催

　　場所：アーニス２階　あえるSTATION